

第3回 11月12日(土曜) 五感で発見 里山の自然

(特別講座) ・長池公園(八王子市) ・講師 小林健人(長池公園副園長)



里山文化の継承と創造を大事にしている長池公園は 20haもの広さ。小林さんは人間が人間らしく健康に生きていくために公園は必要と話す。12日のテーマは「きれい！ 気持ちいい！」を発見することでした。子どもたちは思い思いに探し、見つけて楽しんでいました。



第4回 11月27日(日曜) 里山を楽しむ 作業&収穫祭

・柿生の里特別緑地保全地区 ・講師 柿生の里クラブメンバー



前日のぐずついた天気は 27日にはこの上ない快晴となり、柿生駅からおっ越し山へ。秋から冬への自然の変化を感じ取りながら柿生の里に到着。山伏が待っていてびっくり。法螺貝にも触らせてもらって満足。のこぎり体験は皆ができました！早野の炭で焼く遊ぼうパンは楽しい。賞状も全員に。皆勤賞はふるさとナチュラリスト証。みんなの笑顔でスタッフ一同も安堵しました。



里地里山ナチュラリスト養成講座

★里地里山★を知って・学んで・動こう！ あしたへ

春を待つ樹々を観察しよう

樹々は冬から春へどんな準備をしているのかな？
新百合ヶ丘の公園・緑地・緑道を巡りながら
思いがけない自然を知って、その不思議に出会いましょう。

2月18日（土曜日）
午後1時30分～3時30分

講師 高柳芳恵
(ナチュラリスト)



春が近づく
と葉っぱや花は
どこから出てくるの？
【冬芽】

冬の顔はどんな顔？
いろんな顔がある！
【葉痕】

【はっぴのあかりちゃん】より

●集 新百合ヶ丘駅改札前 解散 弘法松公園(予定) コース予定は緑地案内
●対 象 関心のある方ならどなたでも参加できます。親子さん、学生さんどうぞ。

新百合ヶ丘駅周辺は昭和 50年代に開発が進みましたが、周囲には公園・緑地が配され地名と歴史を有する場所となりました。踏査コース：新百合ヶ丘駅-陸橋-マンション脇緑道-上麻生山口公園-山口白山公園-こやのさ緑道-万福寺檜山公園-弘法松公園。

高柳芳恵さんからは1本1本の木々や草の深い言葉が語られます。自然の不思議に出会い、なぜ？と問いが生まれてきます。「人類より太古からの植物の知恵はすごい」と参加者の声。これらの地の自然が健やかに再生されていくことを願う一日でもありました。



竹を間伐し行燈を作る

孟宗竹の間伐を各自ができる所で体験し、
その切った竹で行燈作りにチャレンジしてみましょう。

●第2回その1 竹の間伐体験

2月25日（土曜日）
午後1時30分～3時30分
協力 川崎市公園緑地協会
柿生の里クラブ



●第2回その2 竹行燈作りにチャレンジ

3月4日（土曜日）
午後1時30分～3時30分
講師 黒川竹行燈の会（野島保代表）



黒川竹行燈の会
の方の作品

●対 象 関心のある方ならどなたでも参加できます。
※但しその1-その2両方に参加できる方に限ります。

はびこり密林化する孟宗竹は困難な問題ですが、黒川竹行燈の会の方々が竹林整備をしつつ竹行燈を制作しています。その教えをこうく先ずは市公園緑地協会の方々から竹の安全な切り方を丁寧にご指導してもらい、参加者全員が竹を切ることができました。そしていよいよ竹行燈の会の方々のマンツーマン指導のもと11個の竹行燈ができました。



金程・向原の 里山の変遷をたどる

この地の里山は住宅地へと大きく変貌しましたが、現在まで残されてある農村の暮らしの跡かたを辿りながら、森や林の変遷やナラ枯れなどの課題を考えます。

3月11日（土曜日）
午後1時30分～3時30分

お話し 海野芳彦(ランドスケープアーキテクト・森もりクラブ代表)



●集 新百合ヶ丘駅改札前 解散 現地(バス停など案内) コース予定は緑地案内
●対 象 関心のある方ならどなたでも参加できます。

今では住宅地となっている金程・向原ですが、地形と共に地域を緻密に辿っていくと田んぼ、畑、林のある農村だった面影が立ち現れてきます。踏査コース：金程～日本民家園創設の機運となった国重要文化財-旧伊藤家住宅跡～（後谷緑地）～千代ヶ丘小学校（川崎市地域文化財-五色八重咲散椿）～向原の森公園～向原弁財天公園～向原の里特別緑地保全地区

里地里山カフェ塾



からむし講座

麻生区の地名が由来する植物 麻=からむし(苧麻)を学ぶ講座です。毎年繊維がとりやすい6月から7月にかけて開催します。講座では縄文時代からの人と自然のかかわり-文化をつむぎ、次世代に伝えようと試んでいます。

からむしボランティア研修

7月10日(日曜)

麻生市民館 料理室 午後2時~4時
前日に早野で刈り取り、水に漬けておいたカラムシを使いました。

- カラムシはイラクサ科の植物
- 苧引きや糸づくりを体験し作品を作り、子どもたちの学習のお手伝いをするための研修です。



親子で楽しむ「からむし」ワークショップ

7月17日(日曜) 麻生市民館 料理室 午後2時~4時

- 野の草カラムシが糸になるなんてと不思議や驚きで作業に夢中になりました。
- 区名の由来なども映像で学びました。
- 3人で協力して糸づくり。紐もたくさんできました。何が出来たかな?

縄文の技術：編布(あんぎん)にもチャレンジ



あさお区民まつりで紹介と展示

区制40周年を記念して、10月9日のあさお区民まつりの会場のひとつ21ホールホワイエで「からむしってなあに」を紹介し、今までの作品なども展示しました。



2011年の区民まつりでは子どもたちに葉を作ってもらいました。カラムシの葉っぱの緑と白を活かしメッセージを添えてカラムシの強い繊維をリボンにしました。その葉は麻生区ゆかりの方々の絵本と一緒に311の被害が生々しく残る気仙沼の浦島小学校へ持参して来ました。





6月8日(水曜)「種」と資料の配布をしてから半年あまり、はたして小さな種は長ーい人参に成長したでしょうか。12月17日、18日とそれぞれの物語りを持った人参が集まりました。18日(日曜)には33組も並びました。「第23回万福寺人参品評会ー私の万福寺人参を語り合う会ー」の開催(万福寺人参友の会共催)です。長さ28cmから102cmの人参が並ぶ姿は圧巻で、審査委員の方々も大変だったと話しておりました。なお今年度もこの人参の特徴である甘みとこく(味覚賞)は審査できませんでしたが、審査委員 成松次郎 長瀬和徳 岩本陽児 三瓶清美 齊藤誠)による厳正な審査のもと、以下の賞が決まりました。
 *最優秀賞〔麻生区長賞〕鈴木章夫(古沢上の畑) *準優秀賞 タイガーファーム 能勢のり子(黒川東) *姿(ルックス)賞 高橋八重子(早野)
 *色彩賞 千代ヶ丘小学校 5年2組(学校脇) *香り賞 日下部光代(古沢協働菜園) *努力賞 金程小学校 2年(校内) *努力賞 明治大学 佐藤来夢(生田校舎農場) *ユニーク賞 明治大学 宮本奈々子(生田校舎農場)

審査中の別室での語り合う会は大いに話が弾みました。千代ヶ丘小学校5年生、金程小学校校長先生、千代ヶ丘小学校校長先生、明治大学生、和光大学生、普段は互に関連の仕事をしている30代40代の方々の視点の違った話も面白かつ栽培者ならではの努力を重ねているからこそその重い言葉が続きました。また最優秀賞の鈴木章夫さんの葉っぱ付き人参3本を区役所ロビーに展示しました。



感謝 講座やイベントへの参加者の皆様、講師を務めてくれた先生方、興味を持って足を止められた方々、支えてくれた担当職員はじめ市民館職員の皆様、団体や施設の皆様、力を合わせてくれたボランティアスタッフ、幹事の方々に深く御礼申し上げます。



区制40周年を記念して写真展 第1回-第16回を集約展示



第17回の昔編を見る子どもたち



フォーラムの受付の様子



地場産野菜スタンバイ、クッキーも入っていたらラッキー♡



写真展 掲示!



写真記録集 表紙



区役所ロビーでの展示



竹行燈の展示



トークリレーの進行

コロナの感染状況の合間を縫いながら3月を迎えました。身に付いた対策で健康に留意しましょう。混沌とする世界、戦争を止め、戦争に至る社会にしないようにと願います。

ボランティアスタッフ、企画運営委員募集中です。下記へご連絡ください。

主催 里山フォーラム in 麻生/麻生区生涯学習支援課(麻生市民館)

里山フォーラム E-mail satoyamaforum@gmail.com TEL 070-6426-6123 麻生市民館 TEL 044-951-1300